



久山中学校だより



R3. 3. 24 第27号

《第74回卒業証書授与式！！》

3月12日（金）久山町立久山中学校 第74回卒業証書授与式が行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も在校生の参加は見送られ、来賓として、久山町長 西村 勝様をはじめ、教育委員会教育長 安部 正俊様、教育委員および教育委員会の皆様方の8名と、卒業生とその保護者、生徒会役員、吹奏楽部員のみでの参列となりました。

今年度の卒業式はステージ上で呼名による返事をし、一人一人に卒業証書を手渡すことができました。各担任の先生によるこれまでの思いを込めた呼名と、その思いに応えるべくしっかりとした返事や姿勢は素晴らしく、保護者の皆様も3年前に入学したときの小さな後ろ姿とは違う立派な姿に、子どもたちの大きな成長を感じられたのではないかと思います。

3年生においては、卒業式をもって9年間の義務教育を終えて、それぞれが選んだ進路へと進むわけですが、大きな行事はなくとも、普段の生活の中で心がけてきた、「頑張っている人をほったらかしにせず、みんなで支え、人の思いに応える」ことを大切にしていってほしいと思います。それと同時に在校生である1・2年生は、その3年生の姿を良き手本とし、伝統として引き継ぎ、さらに発展させていって欲しいと思います。卒業おめでとうございます！。



《1. 2年生クラスマッチ！！》

1年生：3月19日（金）、2年生：3月22日（月）にクラスマッチを行いました。種目は、1年生は男女混合バレーボール、2年生は男女別バスケットボールです。事前の準備やチーム決めから当日の審判なども生徒による運営で行いました。体育会も中止であったため、スポーツによるクラスマッチは今年度初めてでした。さすがに順位が決まるので、これまでの学級でのつながりを大切にしつつも、お互い白熱し、好プレイ・珍プレイに歓声が沸き起こっていました。



《ボランティア活動！！》

3年生の生徒会役員を中心として始めたボランティア活動。朝の落ち葉清掃や挨拶運動、被災地支援募金活動、道徳の日挨拶運動など、たくさんのに取り組んできました。その中で一番大切で大変なことは「継続する」ことです。何事もやってみようとするのは簡単です。（これも大切なことです）でも、それを続けていくことが一番大変なことです。途中で止めたくなくなったり、きつくなったりすることがあります。しかし、そこで自分の心に負けずに続けることが大切です。3年生の生徒会役員から他の3年生へとさらに広がり、1・2年生へと繋がっていきました。その活動を2年生の新生徒会役員が引き継ぎ、各部活動へと引き継がれています。6月から始まった活動への参加者は、2764人まで広がりました。ありがとうございます。この活動が、久山中学校の新しい伝統として今後も引き継がれていくことを願います。

☆☆ 今年度のボランティア活動参加者：2764名 ☆☆☆